



JCL TEAM UKYO SUPPORTING PAPER

王者の貫ろくで3連覇へ

JCL TEAM UKYOは
綿半 信州飯田ステージの
ホームチームです

今年も勝つぞ JCL TEAM UKYO。

(ジェーシーエル チーム ウキョウ)

— 昨年はチームのエース格ネイサン・アール選手が初優勝。昨年は若手の岡篤志選手が見事な逆転勝利で2連覇。国際的な自転車ロードレース競技であるツアー・オブ・ジャパン (TOJ) の第5戦「綿半 信州飯田ステージ」は今年も開催地飯田のホームチームであるJCL TEAM UKYO (ジェーシーエル チーム ウキョウ) など国内外16チームがエントリーし、飯田市下久堅の周回コースで5月23日に開催されます。新たに飯田の有力企業「綿半」のスポンサー協力を得てレースの地元密着度はさらに強化。ホーム3連覇に加えてツアー総合3連覇もかかる同チームに、私たち飯田の仲間は全力で熱い声援を送ることを宣言します。

頑張れ、JCL TEAM UKYO!

- コース概要
飯田市立下久堅小学校グラウンド前(スタート、フィニッシュとも) ~ 下久堅周回コース (10周)
- 総走行距離: 120.9km
- 参加チーム数: 16チーム (海外7チーム、国内9チーム)
- ホームチーム: JCL TEAM UKYO

サウジアラビアでトレーニングに励むJCL TEAM UKYOの選手たち ©JCL TEAM UKYO

UCI UCI公認国際自転車ロードレース

(開催地: 長野県飯田市)

ツアー・オブ・ジャパン2024 綿半 信州飯田ステージ

この応援チラシは競輪の補助により作成しました。
<http://jka-cycle.jp>

5月23日(木) 午前10時 飯田市立下久堅小学校グラウンド前スタート

【問い合わせ】 ツアー・オブ・ジャパン信州飯田ステージ組織委員会事務局 (飯田市役所商業観光課内) ☎0265-22-4852
最新情報については事務局へお問い合わせいただくか、飯田市ウェブサイト <https://www.city.iida.lg.jp/toj/> をご覧ください。

信州飯田のホームチーム、JCL TEAM UKYO を応援しよう!

(ジェーシーエル チーム ウキョウ)

ツアー・オブ・ジャパン2024
綿半 信州飯田ステージ

5月23日(木)開催

午前10時 飯田市立下久堅小学校
グラウンド前スタート

ツアー・オブ・ジャパン2024の第5戦「綿半 信州飯田ステージ」へ我が飯田のホームチーム、JCL TEAM UKYOが帰ってきます。2022、23と本ステージレースを連覇している実力が示す通り、ツアー・オブ・ジャパンの総合結果も2連覇中。勢いそのままに信州飯田3連覇と総合V3を同時に狙います。伊那谷の美しいレースコースを力強く走り抜ける姿に今年も大きな声援を送りましょう!



白地×赤・黒のジャージに変わったJCL TEAM UKYO
元F1ドライバーの片山右京氏が世界最高峰の自転車ロードレース「ツール・ド・フランス」への参戦・表彰台登壇を目標に掲げて2023年に発足した(前身は2012年から活動していた「チーム右京」)。今年はチームジャージを一新。白地に赤と黒のアクセントが印象的なデザインとなった。国内外のレースを転戦する中、ツアー・オブ・ジャパンでは前身のチーム右京時代を含めて2016、17、22、23年に総合成績で優勝。「綿半 信州飯田ステージ」ではホームチームとして声援を受けながら3連覇達成の期待がかかる。

今年のチームカーはこの外観

コースを周回しながら選手に指示を出すチームカーも勝負の行方を左右する重要な存在。沿道で観戦する際はブラックを基調にしたこの車体カラーを目印にJCL TEAM UKYOへ声援を送ろう。



FACTOR社のバイクで疾走する

JCL TEAM UKYOの出場選手5人が「信州飯田」の山岳コースを走らせるのはイギリスのバイクメーカー、ファクター社のロードレースタイプ。フレーム中央の「FACTOR」の文字が目印。



熱い声援
よろしく
お願いします!

元F1ドライバー、JCL TEAM UKYO オーナー/代表
片山 右京さんからのメッセージ

長野県は自分の思い出の地であり、南信州地域は子どものころから訪ねていた大好きな場所です。JCL TEAM UKYOは国内強豪選手の集合体としてチーム力のレベルアップを常に推し進めており、世界の頂点を目指しています。現在、信州飯田ステージを2連覇中ですが、昨年は日本人の岡選手がゴール直前で執念の走りを見せてJCL TEAM UKYOが勝つことができました。ツアー・オブ・ジャパンの勝負どころである信州飯田ステージを3連覇できるよう、今年も飯田の皆さん、熱い声援をよろしくお願いいたします。

PROFILE
1963年、東京都出身。92年から日本人3人目のレギュラードライバーとして自動車レースの最高峰、F1で活躍。リタイアを恐れない攻撃的な走りから「カミカゼ・ウキョウ」と呼ばれ、94年ブラジル・グランプリで5位入賞。その後、ル・マン24時間レースで2位完走。過酷なダートレースとして知られるダカールラリーには世界初の天ぷら油を精製したバイオ燃料で参戦し完走した。2012年より自転車ロードレースチームのチーム右京(現JCL TEAM UKYO)を率いて国内外のレースに参戦。21年、株式会社JCLを設立し初代チェアマンに就任。代表を務めるJCL TEAM UKYOとともに日本ロードレース界の世界進出を図る。

INFORMATION

ツアー・オブ・ジャパン

- UCI(国際自転車競技連合)公認のアジアツアーであり、また日本を代表するステージ制(複数の会場を転戦する形式)のロードレース大会でもあります。
- 近畿～東海～関東と移動しながら全8レースを8日間連続で走り抜きます。総走行距離は769.5km。登り坂の合計距離である「総獲得標高」は、最長の綿半 信州飯田ステージの2580mを含めて全長11419mにも達します。
- ツアー制覇に値するのは、全ステージ終了時点の「個人総合時間賞」。同賞の獲得こそがチームにとって最高の栄誉です。

ツアー・オブ・ジャパン2024 日程

5/19	第1ステージ	堺(大阪府)
5/20	第2ステージ	京都
5/21	第3ステージ	いなべ(三重県)
5/22	第4ステージ	美濃(岐阜県)
5/23	第5ステージ	信州飯田(長野県)
5/24	第6ステージ	富士山(静岡県)
5/25	第7ステージ	相模原(神奈川県)
5/26	第8ステージ	東京

出場チーム

JCL TEAM UKYO、トレンガヌ サイクリングチーム(マレーシア)、ルージャイ インシュアランス(タイ)、ベイコズ ベレディエ スポルテュルキエ(トルコ)、キナン レーシングチーム、アスタナカザクスタン デベロップメントチーム(カザフスタン)、セント パイラン(イギリス)、ヴィクトワール広島、チーム ブリッジレーン(オーストラリア)、マトリックス パワータグ、レバンテ フジ静岡、愛三工業レーシングチーム、シマノレーシング、日本ナショナルチーム、NIPPO・EF・マルティエグ(フランス)、京都産業大学 **全16チーム**

4つの表彰ジャージ

表彰式での選手個人への表彰は4種類。「個人総合時間賞」「ポイント賞」「山岳賞」「新人賞」という4つの賞が設けられ、ステージ優勝者とは別に緑・青・赤・白という4枚のリーダージャージが、該当選手にそれぞれ贈られます。受賞選手は次のステージでそのリーダージャージを着用して戦うことができます。



注目選手

※4月時点の出場予定選手です



ネイサン・アール (JCL TEAM UKYO)
22年に信州飯田で初優勝し、そのままツアー総合を制覇(個人総合時間賞)。23年も総合優勝を果たしている実力者。



岡 篤志 (JCL TEAM UKYO)
チームのアシスト役でありながら23年、レース展開の急変に対応して一気に信州飯田を初制覇したシンデレラボーイ。

綿半 信州飯田ステージ

TOJ全8ステージの第5戦。連戦の疲れが一気に増してくる後半初戦であり、かつ上り下りの差が激しいコース地形であるため、総合成績を大きく左右する難関ステージとされている。現在、ホームチームのJCL TEAM UKYOが2連覇中。

下久堅地区内を周回

全ての走行コースが飯田市下久堅地区内で完結します。スタート、ゴール地点はともに下久堅小学校グラウンド前。天竜川沿いの美しい山あいを10周する様子をツアー公式YouTubeチャンネルの生配信で無料視聴することもできます。



屈指の山岳コース

天竜川の河岸に近い「TOJコーナー」～水神橋周辺と、標高561mの「山岳ポイント」(飯田市下久堅・柿野沢区民センター付近)との高低差は150m以上。角度10%を超える厳しい坂道は上りの合計距離が2580mにも達します。一方、下りは伊那谷と飯田市街地を望む絶景が連続することから、ツアー・オブ・ジャパン屈指の山岳コースと呼ばれています。



※綿半 信州飯田ステージ開催の詳細な情報載せた別冊チラシもご覧ください